

Viva Kango

Campus News of the Japanese Red Cross Hokkaido College of Nursing



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

平成二十一年度 看護研究演習発表会

四年間の講義や実習を通して学んだ看護の集大成ともいえる看護研究発表会が、十二月十日に行われました。発表会場には、四年生だけでなく、三年生も参加し、熱心に発表を聞き入っている姿がありました。



今年度は六十九の演題が出されており、その内容を概観してみると、「看護行為が生体に与える影響に関する研究」、「対象者の心理、及び対象者を取りまく人間関係に焦点を当てた研究」、「看護師・看護学生の認識・看護観に関する研究」、「看護の効果・評価に関する研究」、「看護管理（労働条件）に焦点を当てた研究」など、各領域で多岐に渡る研究テーマが発表されていました。

また、司会・タイムキーパーも学生自身が担当し、発表会の運営能力も、学生生活を通して培ってきた様子が伺えました。発表後の記念写真撮影では、研究をやり遂げ、充実感あふれる表情をした四年生の姿がありました。



平成二十一年度
看護開発センター公開講座

平成二十一年十月一日、本学において公開講座「女性の健康シリーズ二〇〇九」が開催されました。第一回は「若者を子宮頸がんから守る」若者に急増する子宮頸がん、ワクチンで予防」というタイトルで、本学のシャロン・ハンリー先生がワクチンの効果と諸外国の取り組みについて講演して下さいました。シャロン先生のご講演の要旨は左記のとおりです。学生の皆様が子宮頸がんとワクチン接種に関心を持って頂けることを期待しています。

子宮頸がんは子宮頸部、つまり子宮の入り口に起こるがんである。発がん性ヒトパピローマウイルス（HPV）が原因で、主に性行為によって感染が広がる。

HPVは一〇〇以上の種類があるが、子宮頸がんの発症に関係するのは十五種類ほどで、そのうち



の十六型と十八型という二種類ががんの原因の七〇%を占める。HPV感染は非常にありふれた感染で、性活動が活発になる十代後半から二十代の性交開始後、数年以内に感染する。多くの場合は症状が出ないので気がつかないが、殆どの女性はいつかどこかでHPVに感染する可能性がある。HPV感染の九〇%は自己免疫力により消失するが、持続感染を起こした場合、子宮頸がんに移行する可能性もある。

以前は四十歳以上の中高年が多くを占めていたが最近の日本では、二十〜三十歳代の発症が急激に増加している。

HPVワクチンはHPV十六型と十八型の感染を防ぐためである。HPVに曝露されていない女性において特に効果があるため、主たる対象集団は十〜十四歳女子となっている。HPVワクチンは一七か国で手に入れることができるが、この国々の全ての女性がワクチン



接種を受けられるということではない。費用が高いために受けられない女性が大量にいる。日本でも若い女性の子宮頸がんの征圧に成功するために、政府の十分な資金援助（貧富の差がなく接種ができるように）やHPV関連の効果的な教育が不可欠である。

北見工業大学、旭川医科大学と
包括連携協定を締結

昨年の七月十七日（金）に北見市内のホテルに於いて、国立大学法人北見工業大学及び同旭川医科大学と相互の連携及び協力に関する包括連携協定を締結しました。

この協定は、三大学が行う教育・研究活動全般における交流及び連携を推進し、相互の教育・研究の一層の進展と地域社会及び国際社会の発展に資することを目的としており、学生の教育・研究及び学生が行う諸活動に対する支援に関すること、学術研究の推進に関すること、地域連携活動に関するこ



となどについて連携を図るものです。

締結式では協定書への調印後、鮎田北見工大学長、吉田旭川医科大学長、石井学長からそれぞれ抱負が述べられ、「工学、医学、看護学の連携は互いに最も望むところ」と今後の取り組みに期待が寄せられていました。

三大学は、カリキュラムの設定や研究テーマなどについて今後検討を重ね、平成二十二年度から連携に基づく本格的な取り組みを開始する予定です。

認定看護師教育課程修了式

昨年六月に開講した認定看護師教育課程（がん化学療法看護）を終えた一期生十一名の修了式が十一月二十七日に行われました。各地から集まり、互いに切磋琢磨しながら厳しい六ヶ月間を過ごした修了生は、「今までの学びを生かし、患者様やご家族の力になりたい。」と新たな決意で臨床へ旅立って行きました。今後は、五月に行われる認定看護師審査（日本看護協会主催）に合格し資格を取得することで、活躍の場が広がっていきます。

看護開発センター
認定看護師教育課程

准教授 本間 裕子



秋の芸術展示会

秋の展示会は、二〇〇九年度の入学式から、スポーツ大会、大学祭等の思い出の写真や生徒の皆さんから提供して頂いた作品などを展示し、多くの人に見てもらい楽しんでもらおうと自治会が企画したものです。展示場所として食堂前と集会室を借りて行ったところ、今年度も多くの方が観覧して下さい、より一層の盛り上がりがあったと

思います。作品を提供して下さった学生や教員の皆様ありがとうございます。来年度はより一層盛大に楽しんで頂けるよう、創意工夫を凝らし実施したいと考えています。開催の際には皆様のご協力と観覧を是非お願いいたします。

自治会長 一年生 細目 和久

研究と私



教授 澤田愛子

研究に関していつも思うことは、「やらねばねらないから」という気持ちからは決してよい研究は生まれないということです。「このテーマを追求したい」、このような気持ち根底に無ければ研究はできないし、だいたい楽しくはないものです。

ここで、私の体験をお話しさせていただきます。私はホロコースト(ナチ政権下のユダヤ人大虐殺)の問題に若い頃から関心がありましたが、一九九六年、はじめてポーランド



対象者の同意の獲得が非常に困難で、考え得るあらゆる手段を駆使しました。しかも聞き取りの場がテロの絶えないイスラエルであったことにより、常に生命の危険も感じながらの調査になりました。この間家族や友人、同僚達をずいぶんはらはらさせることになったのですが、こうして幾多の困難を経ながらこの研究は一定の成果を出すことができ、今も続行中です。しかしどんなに困難を感じても、一度も断念しようと考えたことはありませんでした。その理由は自分がこのテーマに魅せられてしまっていたからです。海外取材の途中で転倒し骨折もしましたが、たとえ足がどうなってもやり抜きたいという気持ちだけがありませんでした。研究者になれば幸いと一筆をしたためました。

札幌サテライト

昨年十一月、札幌市中央区にある赤十字会館(日本赤十字社北海道支部)二階に本学のサテライトを開設しました。

このサテライトは、札幌(道史)圏における本学の教育研究活動振興及び情報発信拠点として活動を展開するとともに、本学教職員、同窓会会員、後援会会員等の交流促進に寄与し、地域社会へ貢献することを目的としており、公開講座・研修会・各種相談業務等に関する

こと、情報の収集・発信に関すること、入学試験・進学相談・就職相談等に関することなどを実施していきます。

本年四月からの本格的な取り組みの開始に備え、現在、運営委員会等で準備を進めています。



入試情報

《看護学部》

推薦入学試験(定員四十五名)、
社会人入学試験(定員若干名)は
昨年十一月十五日に本学を会場
として行われました。推薦の受
験生六十八名及び社会人の受験
生八名が小論文と面接を受け、
推薦入試五十三名、社会人入試
三名が合格しました。

《大学院看護学研究科》

推薦入学試験及び前期の一般入
学試験は、本学を会場として行
われ五名が合格しました。

は、今年二月六日、本学、釧路
帯広、旭川、札幌及び東京の六
ヶ所で行われ、百五十名が受験
しました。

後期の一般入学試験は、本学
及び札幌を会場として今年二月
二十八日に実施し、三月二日に
合格発表を行いました。

また、センター入試(定員十名)
は一〇二名が受験し、合格発表は、
一般・センター入試とも二月十
二日に行われました。

●奨学金貸与状況●

平成21年12月1日現在

名 称	貸与金額	1年生	2年生	3年生	4年生
日本赤十字社北海道支部奨学金	年額 60万円	68	68	65	49
日本赤十字社看護師同方会	月額 2万円	1	1	3	1
北海道看護職員養成修学資金	月額 3.2万円	2	4	2	
北見市立大学生奨学資金	年額60万円限度	32	35	22	15
北海道厚生連奨学金	月額 4万円		1	1	3
日本学生支援機構 第1種奨学金	月額5.4~6.4万円	21	13	12	11
きぼう21プラン奨学金	月額 3~12万円	43	34	40	49
仙台赤十字病院奨学金	年額 60万円			1	
日本赤十字社福島県支部奨学金	月額 10万円		1		
日本赤十字社医療センター奨学金	月額 60万円			1	
武蔵野赤十字病院奨学金	年額 60万円		1	1	1
さいたま赤十字病院奨学金	月額 5万円			1	1
横浜市立みなと赤十字病院奨学金	月額 5万円				2
名古屋第一赤十字病院奨学金	月額 4万円	1		2	1
日本赤十字社和歌山医療センター奨学金	年額 60万円	2	1		1
日本赤十字社兵庫県支部奨学金	年額 60万円			4	

2010年度 前期行事予定

- 4月 5日 入学式
- 4月 6日 新入生(～7日)・在学生ガイダンス
- 4月 7日 前期授業開始(2～4年次)
前期履修登録(2～4年次、～14日)
- 4月 8日 前期授業開始(1年次)
前期履修登録(1年次、～15日)
- 4月30日 臨時休業
- 5月 1日 日本赤十字社創立記念日
- 6月25日 臨時休業(午後)
- 6月26日 大学祭(～27日)
- 6月28日 臨時休業(午前)
- 8月 2日 前期定期試験(1・3年次、～6日)
- 8月 9日 前期定期試験(2年次、～11日)
夏季休業(1・4年次、～9月24日)
夏季休業(3年次、～9月17日)
- 8月12日 夏季休業(2年次、～9月24日)

学生の皆さんへの注意

最近、ひつたりなどのニュ
ースが頻繁に報道されています。
また、昨年は不審者が出現して
いるという情報もありました。

北見警察署及び柏泉町内会の
皆さんが夜間のパトロールを実
施してくださっていますが、学
生の皆さんも通学時(特に帰路)
や、一人暮らしの方は、次の点
に注意してください。

一、できる限り早い時間に帰宅
するようにしてください。

二、やむを得ず夜間に帰宅する
場合は、必ず複数で帰宅する
ようにし、一人では帰宅しな
いようにしてください。

三、アパートでは、必ず施錠し、
内側のチェーンを掛けるよう
にしてください。ドアを開ける
時は、必ず相手を確認してか
ら開けるようにしてください。

四、万が一被害に遭った時は、
大声を上げて助けを求めるか
近くの民家に駆け込むよう
にしてください。また、できる
だけ相手の特徴、車種、車色
、車番等を記憶するようにし
てください。

なお、警備員室に貸出用の防
犯ベルを用意していますので、
やむを得ず夜間に帰宅する場合は、
ご利用ください。

教職員人事

【退職】

平成二十一年十二月三十一日付け
助手 杉田 恵美

編集後記

国家試験が無事に終わり、巣立
ちを迎える学生達のさざめきが聞
こえてくるようになりました。今
年も、喜ばしくも一抹の寂しさを
覚える季節の到来です。

小誌が配信される頃には、四年
生はこの学舎を飛び立ち、遙か遠
くを目指していることでしょう。
大きく大きく羽ばたいて欲しいと
願っています。



日本赤十字北海道看護大学内誌

Viva Kango

第27号

発行日/2010年3月26日
編集・発行/広報委員会

〒090-0011 北海道北見市曙町664-1
TEL(0157)66-3311 FAX(0157)61-3125
mail to: kouhou@rchokkaido-cn.ac.jp
http://www.rchokkaido-cn.ac.jp

